

6 川 港 整 備 第 4 4 号

令 和 0 7 年 0 1 月 1 4 日

国土交通大臣 殿

川崎市長

社会資本総合整備計画の変更について

令和06年01月12日 付け 5川港整第157号 で提出した、社会資本総合
整備計画について、別添のとおり変更するので提出する。

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和02年01月29日

計画の名称	川崎港における災害に強く地域経済を支える港づくり（防災・安全）													
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当			
交付対象	川崎市													
計画の目標	大規模地震等の災害対策、港湾施設の利便性の向上および物流機能の強化の推進に取組み、災害に強く地域経済を支える安全な港づくりを図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		3,521	A	3,521	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	臨港道路東扇島水江町線（直轄事業）と東京大師横浜線（産業道路）を結ぶ、臨港道路の改良工事（本市事業）の実施率を高める。 改良工事の実施率は、臨港道路の改良工事全体延長のうち、改良工事が完了した割合 改良工事の実施率＝（改良工事完了延長/改良工事全体延長）×100			
		0%	100%	100%
2	係留施設、外郭施設において、使用制限および休止施設を発生させず、利用可能な施設の割合を100％に維持する。 使用制限および休止施設を除く施設数の全施設数における割合 ＝（利用可能な施設/全体施設数）×100			
		100%	100%	100%
3	津波・高潮時において、陸間操作員の安全性および市民の生命と財産を守るため、海岸保全施設の改良を行う。 海岸保全施設の改良工事の実施率は、陸間の改良施設数のうち、改良工事が完了した割合 改良工事の実施率＝（改良工事完了施設数/改良工事残施設数）×100			
		0%	66%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
川崎市国土強靱化地域計画に基づき実施される要素事業：A09-007												

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
港湾事業	A02-001	港湾	一般	川崎市	直接	川崎市	戦略	改良	臨港道路の改良	延長L=1,127m	池上町	■	■	■			609	-	策定済	
	A02-002	港湾	一般	川崎市	直接	川崎市	戦略	建設	小型船溜まりの整備	延長L=130m	東扇島地区	■					1,510	1.5	－	
		令和2年度の補正より重点計画へ移行																		
	A02-003	港湾	一般	川崎市	直接	川崎市	戦略	改良	物揚場改良（千鳥町ABC物 揚場）	延長L=331m	千鳥町地区	■	■	■			367	-	策定済	
	A02-004	港湾	一般	川崎市	直接	川崎市	戦略	改良	岸壁改良（東扇島26号～2 9号）	延長L=520m	東扇島地区	■	■	■			477	-	策定済	
	A02-005	港湾	一般	川崎市	直接	川崎市	戦略	改良	岸壁改良（東扇島6号～8 号）	延長L=720m	東扇島地区	■	■	■			243	-	策定済	
	A02-006	港湾	一般	川崎市	直接	川崎市	戦略	改良	護岸改良（東扇島護岸）	延長L=109m	東扇島地区	■	■	■			71	-	策定済	
												小計						3,277		

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
海岸事業	A09-007	海岸	一般	川崎市	直接	川崎市	高潮	港湾	海岸保全施設の改良	陸開改良12施設・防潮堤の改良・樋門の改良	川崎港内	■	■	■	■	■	244	-	策定済	
												小計						244		
											合計							3,521		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04	R05	
配分額 (a)	178	90	342	18	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	178	90	342	18	
前年度からの繰越額 (d)	71	130	54	248	
支払済額 (e)	119	166	148	242	
翌年度繰越額 (f)	130	54	248	18	
うち未契約繰越額(g)	34	0	0	18	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	6	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	13.65	0	0	9.02	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	入札不調				

事前評価チェックシート

計画の名称： 川崎港における災害に強く地域経済を支える港づくり（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 計画の目標が基本方針等と適合している。	☐
I. 目標の妥当性 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。	☐
I. 目標の妥当性 現状調査が適切に行われている。	☐
I. 目標の妥当性 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	☐
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	☐
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	☐
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	☐
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が得られることが確認されている。	☐
II. 計画の効果・効率性 事業効果を高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	☐
II. 計画の効果・効率性 長期的な計画の見通しがある。	☐
III. 計画の実現可能性 事業熟度が十分である。	☐
III. 計画の実現可能性 健全な状態の施設利用が見込まれる。	☐
III. 計画の実現可能性 計画期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	☐
III. 計画の実現可能性 事業実施のための調整が図られている。	☐

(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)

